

令和3年度学校自己評価システムシート(県立大宮中央高等学校)

目指す学校像	多様な学習システムにより、生徒の可能性を伸ばすとともに、他者を尊重する精神を養い、主体的に行動できる生徒の育成を目指す。
--------	--

重点目標	<p>1 様々な環境の中で生徒が主体的に学ぶ力を育成する。そのための教材を開発するなど多様な働きかけを行い、授業改善を進める。また、生徒にとって魅力ある学校づくりを進める。</p> <p>2 「決意・計画・継続」を土台として、生徒の自己管理能力の向上を図り、生活マナーなど他者を尊重する態度を醸成する。また、自己の可能性を発見し、社会で生きていく力をさらに伸張するためのサポートを行う。</p>
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	7名
	事務局(教職員)	18名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学校関係者評価		
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			実施日 令和4年3月8日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策		
1	【通信制の課程】 ①生徒は、様々な環境下で意欲的に学習に取り組んでいるが、困難さを感じている生徒もいる。 ②進路希望実現のために、外部の教育力の活用を図り、魅力ある学校づくりを進める必要がある。	①生徒が意欲的かつ効果的に学習できるよう、ICTも含め、指導方法を工夫する。	①生徒が主体的に授業に取り組めるように、レポートや授業の改善をするとともに、ICT を利用した教育体制を推進する。 ②学習サポーター、ハローワークなどの外部教育力の活用を推進し、充実した進路指導を行う。	○学習手帳・学習ガイドブック・受講ガイドブックの活用状況 ○外部の教育力の積極的活用状況 ○ICTを活用した教育体制の推進状況 ○生徒の学力の伸長状況 ○単位修得状況 ○進路実現や高校卒業への生徒の取組状況とその満足度	生徒が意欲的かつ効果的に学習できるような指導方法の工夫は着実に進んでいる。生徒の進路意識の向上を目指す取り組みは今後も継続していく。 ○学習手帳・ガイドブック・受講ガイドブックの活用状況(90.7%(昨年度 84.6%)) ○外部の教育力の積極的活用状況(通信制課程:学習サポーター83日來校)(単位制による通信制課程:学習サポーターのべ41日來校、106名の生徒が活用) ○ICTを活用した教育体制の推進状況・グーグルクラスルーム導入(レポート資料動画配信、担任によるクラス通信の発信)・プロジェクターを利用したスクーリング・授業、BYODの利用開始、電子黒板の利用ICTを活用した文化祭、履修指導等 ○生徒による学力伸長の実感状況(76.9%(昨年度 69.1%)) ○単位修得状況(通信:65%、単位制通信:63.6%、単位制定時:59%) ○進路決定への積極的な取組(54.5%(昨年度 53.9%))	A	①今年度大きく前進した ICT 教育体制のもとに、新教育課程に対応したレポート、スクーリング、テストを検討し、実施する。 ②増加する外部教育力利用希望者に対応する形で、次年度、計画、運営を行う。		
	【単位制による通信制の課程】 ①通信制のシステムを有効活用するための単通メール等の活用、ICT 教育を含めた教育活動の充実が課題である。 ②新型コロナウイルス蔓延下、学校行事等の工夫や部活動の一層の充実が必要である。また、生徒の学習支援や進路意識の育成も必要である。		②生徒の進路意識の向上を目指す取り組みを行う。	①ICT等を有効活用し、生徒・保護者とのコミュニケーションを充実させる。また、学習サポーターの有効活用を進める。 ②学校行事のリモート化、継続的部活動指導を実践する。また、学習サポーターや就職支援アドバイザーと連携し、生徒を支援する。	①多様な講座を開設するとともに、新型コロナウイルス感染症対応を含めた社会の要請に適切に対応しながら本課程の持続可能性を高める。 ②進路説明会やガイダンスの開催、生徒への適切な資料提供を心掛け、きめ細かな進路指導を行う。	○マナーを守り、けじめを持った学校生活状況 ○教育相談室の積極的なPRとその活用状況 ○学校案内やホームページ等による積極的な情報提供の状況 ○生徒との信頼関係構築のもとでの指導状況 ○アンケートによる生徒の状況把握にもとづく適切な対応状況	生徒の規範意識と、他者を尊重する精神はある程度醸成出来た。適切な情報発信は大幅に進んだ。きめ細やかな指導を充実させる。 ○マナーやけじめのある学校生活(92.3%(昨年度 94.4%)) ○教育相談室の利用状況(延べ人数)1月までで1675人(昨年度1年間で1320人) ○学校案内を大幅に刷新。HP等による積極的な情報発信(78回以上、その他3課程の更新あり)。ホームページで志願者向けの学校説明動画を用意した。 ○担任を中心として、生徒と信頼関係構築しながら指導を行った。また、教育相談も積極的に活用した。 ○学校生活に関するアンケート等を実施して、その結果を活用した。	B	①ICTを活用した指導や学校行事は大きく前進した。次年度はさらに ICT 活用の充実を進める必要がある。 ②学習サポーターの活用は、後期に大きく進んだ。次年度は前期から積極的に活用していく必要がある。進路意識を高める為、就職支援アドバイザーとの連携をさらに進める必要がある。 ①新型コロナウイルス感染症の影響をそれほど大きく受けることなく、学習活動を行うことができた。授業内での ICT の活用は徐々に広がっている。来年度も引き続き充実を図る。 ②進路指導部による進路ガイダンスや面接指導等の実施に加え教育相談室での対応も増加している。来年度はさらに相談窓口についてのアナウンスを充実させる。
	【単位制による定時制の課程】 ①個々の生徒の学習の目的や理解度に合わせた、きめ細かな指導を充実させ、学力の向上を図る。 ②個々の生徒の実情に合った指導を充実させ、生徒の進路意識の向上と自ら行動を起こせるような主体性の育成を図る。		①生徒の規範意識の向上とともに、他者を尊重する精神を醸成する。	①スクーリング時に巡回指導を実施し、生徒への丁寧な声かけ等を行い、自己管理能力、規範意識を向上させる。 ②少ない登校日であるが、積極的に生徒理解に努めるとともに、教育相談室や教育相談窓口の周知、活用を進める。	①養護教諭、教育相談員、ソーシャルワーカー、カウンセラーと連携して生徒の心身の健康維持を支援する。 ②学校説明会や入学相談等において、HPを有効活用するとともに、情報提供の工夫を工夫する。	○マナーを守り、けじめを持った学校生活状況 ○教育相談室の積極的なPRとその活用状況 ○学校案内やホームページ等による積極的な情報提供の状況 ○生徒との信頼関係構築のもとでの指導状況 ○アンケートによる生徒の状況把握にもとづく適切な対応状況	生徒の規範意識と、他者を尊重する精神はある程度醸成出来た。適切な情報発信は大幅に進んだ。きめ細やかな指導を充実させる。 ○マナーやけじめのある学校生活(92.3%(昨年度 94.4%)) ○教育相談室の利用状況(延べ人数)1月までで1675人(昨年度1年間で1320人) ○学校案内を大幅に刷新。HP等による積極的な情報発信(78回以上、その他3課程の更新あり)。ホームページで志願者向けの学校説明動画を用意した。 ○担任を中心として、生徒と信頼関係構築しながら指導を行った。また、教育相談も積極的に活用した。 ○学校生活に関するアンケート等を実施して、その結果を活用した。	A	①登校時にはあらゆる機会を捉えて、生徒への丁寧な声かけ、観察等を行い、自己管理能力、規範意識の向上を継続して指導する。 ②相談希望の生徒はもとより、スクーリング、レポート、巡回指導等から生徒の変化をくみとり、教育相談へつなげる体制をつくる。
2	【通信制の課程】 ①様々な環境下の生徒に対して、生活指導等とおして、自己管理能力、他者を尊重する態度等を醸成させなければならない。 ②コロナ禍での心のケアが必要であり、個に応じた教育相談体制を充実させる必要がある。	②適切な情報発信と、きめ細やかな指導を充実させる。	①スクーリング時に巡回指導を実施し、生徒への丁寧な声かけ等を行い、自己管理能力、規範意識を向上させる。 ②少ない登校日であるが、積極的に生徒理解に努めるとともに、教育相談室や教育相談窓口の周知、活用を進める。	○マナーを守り、けじめを持った学校生活状況 ○教育相談室の積極的なPRとその活用状況 ○学校案内やホームページ等による積極的な情報提供の状況 ○生徒との信頼関係構築のもとでの指導状況 ○アンケートによる生徒の状況把握にもとづく適切な対応状況	生徒の規範意識と、他者を尊重する精神はある程度醸成出来た。適切な情報発信は大幅に進んだ。きめ細やかな指導を充実させる。 ○マナーやけじめのある学校生活(92.3%(昨年度 94.4%)) ○教育相談室の利用状況(延べ人数)1月までで1675人(昨年度1年間で1320人) ○学校案内を大幅に刷新。HP等による積極的な情報発信(78回以上、その他3課程の更新あり)。ホームページで志願者向けの学校説明動画を用意した。 ○担任を中心として、生徒と信頼関係構築しながら指導を行った。また、教育相談も積極的に活用した。 ○学校生活に関するアンケート等を実施して、その結果を活用した。	A	①登校時にはあらゆる機会を捉えて、生徒への丁寧な声かけ、観察等を行い、自己管理能力、規範意識の向上を継続して指導する。 ②相談希望の生徒はもとより、スクーリング、レポート、巡回指導等から生徒の変化をくみとり、教育相談へつなげる体制をつくる。		
	【単位制による通信制の課程】 ①新型コロナウイルス蔓延化、生徒の心のケアの充実が求められている。 ②単位制による通信制の課程の教育システムや受験について、志願者に適切に情報提供する必要がある。		②適切な情報発信と、きめ細やかな指導を充実させる。	①スクーリング時に巡回指導を実施し、生徒への丁寧な声かけ等を行い、自己管理能力、規範意識を向上させる。 ②少ない登校日であるが、積極的に生徒理解に努めるとともに、教育相談室や教育相談窓口の周知、活用を進める。	①養護教諭、教育相談員、ソーシャルワーカー、カウンセラーと連携して生徒の心身の健康維持を支援する。 ②学校説明会や入学相談等において、HPを有効活用するとともに、情報提供の工夫を工夫する。	○マナーを守り、けじめを持った学校生活状況 ○教育相談室の積極的なPRとその活用状況 ○学校案内やホームページ等による積極的な情報提供の状況 ○生徒との信頼関係構築のもとでの指導状況 ○アンケートによる生徒の状況把握にもとづく適切な対応状況	生徒の規範意識と、他者を尊重する精神はある程度醸成出来た。適切な情報発信は大幅に進んだ。きめ細やかな指導を充実させる。 ○マナーやけじめのある学校生活(92.3%(昨年度 94.4%)) ○教育相談室の利用状況(延べ人数)1月までで1675人(昨年度1年間で1320人) ○学校案内を大幅に刷新。HP等による積極的な情報発信(78回以上、その他3課程の更新あり)。ホームページで志願者向けの学校説明動画を用意した。 ○担任を中心として、生徒と信頼関係構築しながら指導を行った。また、教育相談も積極的に活用した。 ○学校生活に関するアンケート等を実施して、その結果を活用した。	A	①引き続き、教育相談体制の充実を図る必要がある。また、教育相談への教職員の共通理解を図るため、研修会などを行う必要がある。 ②ホームページでの学校説明会は有効かつ効果的であった。次年度以降も継続・充実させる必要がある。
	【単位制による定時制の課程】 ①安心・安全な学習環境はほぼ確立されている。さらなる規範意識の醸成、学習意欲の向上に向け、教職員が共通認識をもって指導に当たることが重要である。 ②教育相談体制の整備により、様々な背景を持つ生徒への支援をさらに充実させる。		②適切な情報発信と、きめ細やかな指導を充実させる。	①スクーリング時に巡回指導を実施し、生徒への丁寧な声かけ等を行い、自己管理能力、規範意識を向上させる。 ②少ない登校日であるが、積極的に生徒理解に努めるとともに、教育相談室や教育相談窓口の周知、活用を進める。	①養護教諭、教育相談員、ソーシャルワーカー、カウンセラーと連携して生徒の心身の健康維持を支援する。 ②学校説明会や入学相談等において、HPを有効活用するとともに、情報提供の工夫を工夫する。	○マナーを守り、けじめを持った学校生活状況 ○教育相談室の積極的なPRとその活用状況 ○学校案内やホームページ等による積極的な情報提供の状況 ○生徒との信頼関係構築のもとでの指導状況 ○アンケートによる生徒の状況把握にもとづく適切な対応状況	生徒の規範意識と、他者を尊重する精神はある程度醸成出来た。適切な情報発信は大幅に進んだ。きめ細やかな指導を充実させる。 ○マナーやけじめのある学校生活(92.3%(昨年度 94.4%)) ○教育相談室の利用状況(延べ人数)1月までで1675人(昨年度1年間で1320人) ○学校案内を大幅に刷新。HP等による積極的な情報発信(78回以上、その他3課程の更新あり)。ホームページで志願者向けの学校説明動画を用意した。 ○担任を中心として、生徒と信頼関係構築しながら指導を行った。また、教育相談も積極的に活用した。 ○学校生活に関するアンケート等を実施して、その結果を活用した。	A	①引き続き登校指導や昼休み中の組織的な生徒への声掛けにより信頼関係を作っていく。 ②学校生活やいじめに関するアンケートを前後期それぞれで実施。いじめについては今年度1件認知し、適切に対応できた。生徒の抱える課題について、引き続きアンケートや教育相談機能の充実により、改善に向けた取組を続けていく。

学校関係者からの意見・要望・評価等
【学校関係者からの評価】 《1領域について》 ①十分達成できた(8%) ②概ね達成できた(92%) 《2領域について》 ①十分達成できた(38%) ②概ね達成できた(62%) 【学校関係者からの意見・要望等】 ・学習手帳、ガイドブック、受講ガイドブックの活用状況が高まり、魅力ある学校づくりが進められたことは評価できる。 ・グーグルクラスルームの活用を進めて欲しい。また、ICTを活用した取組がとても評価できる。 ・スクーリングでは、口頭解説と板書に限らず、スライドによる図や関連動画を用いて解説してくれる教科もあり、生徒が理解しやすいよう工夫がなされている様子がある。 ・レポート及びテスト対策をサポートするプリントが配布される科目には生徒が意欲的に取り組めるので継続して欲しい。 ・進路決定への積極的な取組については、今後も外部講師の活用をさらに推進して欲しい。 ・進路説明会はとても良かった。LHRにて将来に関する話などの取り組みを増やした方が良いと思う。 ・殆どの人はマナーを守っていると感じた。たばこ等のマナーも以前に比べ向上している。 ・先生との適度な距離感がありがたかった。細かいことでも相談や質問をすれば、多くの先生が真剣に対応して下さった。 ・HPの更新が多くて助かる部分がありました。登校日が限られるため、コミュニケーションの場が少ないので、今後もHP等の情報発信が重要である。